

平成23年度 活動報告

平成23年度は、東日本大震災からの復興に際して、一刻も早く保険金をお届けしようと奔走された代理店の活躍が高く評価され、地域社会における保険代理店の存在価値が改めて見直された1年であった。

福岡県代協は、各委員会活動を中心とした代協活動の強化および支部活動の活性化に努めたが、とくに、正会員増強運動と保険大学校第14期生の募集に注力した結果、正会員増強運動は8年連続増強目標達成という快挙を成し遂げ、また、保険大学校第14期生の受講申込数は目標比220%の55名を達成できた。

組織財務委員会 ————— 正会員増強と組織の基盤強化

1. 正会員増強

- ・年間の増強目標21店を達成して、V8（8年連続増強目標達成）を果たすということを最大の目標としてスタートしたが、23年12月末時点では、入会数16店に対して退会数も15店を数え、増強数は1店に過ぎなかった。

しかし、24年2月の全国一斉「代協正会員2月入会キャンペーン」において、各支部長、組織財務委員を中心として入会促進に取り組んだ結果、キャンペーン目標の11店入会を大きく上回る24店の入会を達成した。そして年度通算では、入会数45店、退会数24店で差引き21店の増加、年度末正会員数は508店となり目標を達成できた。

- ・これは、平成16年度から8年連続の増強目標達成＝V8を成し遂げたというばかりではなく、福岡県代協の過去最大の正会員数507店(平成7年3月末)を更新し、さらに北海道を抜いて、大阪、東京、愛知に次ぐ正会員数全国第4位に躍進するという快挙である。

2. 福岡県代協オリエンテーション

- ・平成23年7月8日（金）、八仙閣本店、参加者80名
- ・「代協活動の現状と課題」 福岡県代協 会長 橋本 安彦 氏
- ・「新しくなる募集人制度」 日本代協 教育委員 富永 紘一 氏
- ・「アイエス事業について」 (株)アイエス 代表取締役 八尋 武 氏

3. 全国損害保険代理業国民年金基金

- ・日本代協全国一斉「国民年金基金加入推進キャンペーン」（平成23年11月1ヶ月間）では実績をあげることができなかったが、24年3月に新規加入が1名あり、加入者ゼロを免れた。

1. 各種セミナーの開催

(1) 第3回通常総会記念セミナー

- ・平成23年5月20日（金），アークホテル博多ロイヤル，参加者80名
- ・演題：「新しくなる募集人制度 ～ 損保協会の募集人制度と
日本代協の認定保険代理士の統合について」
- ・講師：日本代協 常任理事・教育委員長 道家 嗣典 氏

(2) 代理店賠償セミナー（福岡県代協オリエンテーションと同時開催）

- ・平成23年7月8日（金），八仙閣本店，参加者80名
- ・演題：「代理店の賠償責任と最近の事故例」
- ・講師：アリアンツ社部長 黒田 朗 氏

(3) 福岡3支部合同セミナー

- ・平成23年11月12日（土），グランドハイアット福岡，参加者60名
- ・演題：「被災地の代理店は、今・・・」
- ・講師：岩手県代協常務理事 谷地 保 氏

(4) 新春・活力研セミナー（保険代理士認定証授与式と同時開催）

- ・平成24年1月30日（月），KKRホテル博多，参加者100名
- ・演題：「代理店をとりまく競争環境の変化と方向性」
- ・講師：日本代協 副会長 泉 健彦 氏



2. 九州北ブロック主催の研修

(1) 日本代協保険大学校セミナー

- ・平成23年11月 1日 (火) 第13期生 第4回目 受講者数 69名
- ・平成23年11月 2日 (水) 第14期生 第1回目 受講者数 98名
- ・平成24年 1月24日 (火) 第14期生 第2回目 受講者数 93名

いずれも福岡東京海上日動ビル 10階会議室にて開催した。

(2) 日本代協認定保険代理士・資格更新研修

- ・平成23年 6月27日 (月) 第3, 6, 9期生対象 受講者数155名
福岡商工会議所 305会議室にて開催した。
- ・平成23年 9月 6日 (火) 上記の追加研修 受講者数 7名
福岡東京海上日動ビル 10階会議室にて開催した。

3. 日本代協認定保険代理士

- ・日本代協保険大学校第12期生の課程が修了、福岡県代協から新たに34名の認定保険代理士が誕生し、第1期生からの累計では348名となった。
- ・平成24年1月30日 (月) KKRホテル博多に於いて開催の新春・活力研セミナーに先だって、第12期保険代理士の認定証授与式を実施した。

4. 日本代協保険大学校・第14期生の募集

- ・損保協会の資格制度と統合されるために、最後の保険大学校となる第14期生の募集は、募集開始の4月から順調に推移し、7月3日に当初目標の25名を達成した。
そして、募集締切の7月末には目標を大きく上回り、目標比220%の55名まで伸ばすことができた。
- ・九州北ブロックとしても合計目標60名を37名上回る97名となった。

5. 支部セミナーの開催

- ・各支部にて支部活動を活性化するために支部セミナー等を開催した。

企画環境委員会 募集環境の整備活動

1. 代理店制度に係る諸問題への取組

- ・19年度から開始された「活力ある代理店制度等研究会」の報告（「代協活動の現状と課題」等に掲載）を支部例会等で周知徹底し、勉強会の資料等にも活用するよう呼びかけた。
- ・前年度に引続き「活力研セミナー」を、平成24年1月30日に、泉副会長を講師に招いて開催した。（教育委員会との共催）

2. 募集の公平性の維持・募集環境の整備

- ・ディーラーの不正募集の実態を把握するために、平成22年12月～23年3月にかけて実施した「ディーラーの不正募集に関するアンケート」の結果を集約し、九州北ブロック協議会および日本代協の企画環境委員会に報告した。
また、23年11月22日に、中村事務局長が損保5社のコンプラ担当部・室長を往訪して、同集約結果を提示し、「関係法規等の遵守とコンプライアンス励行」の周知徹底を要請した。
- ・銀行窓販および郵便局による保険販売のモニタリングは継続中であるが、とくに報告事案はなかった。

3. 代理店賠償「新日本代協プラン」の推進

- ・福岡県代協の平成23年度加入率は、85.9%で全代協中第3位であった。
また、九州北ブロックの加入率も83.4%で全ブロック中第2位。

事業広報委員会

収益事業と広報活動

1. 収益事業

- ・福岡県代協の収益事業は、賛助会員である(株)アイエスに業務委託している。
アイエス事業の伸展を図るために、福岡県代協協賛で実施した平成23年度アイエス・支部対抗コンテストでは福岡西支部が優勝し、福岡県代協会長賞を獲得した。
- ・代協会員のお客さま向け自動車钣金塗装修理のネットワークサービスを充実させるために、日本全国に約450店の店舗網を持つDRPネットワーク(株)との提携に踏み切り、24年1月16日に福岡県代協、(株)アイエス、DRPネットワーク(株)の3者間協定の調印を行った。
すでに、全国36代協が同ネットワークとの提携を行っており、福岡県代協は37番目の提携代協になると同時に、九州・沖縄は全県代協が提携することになった。
従来、福岡県代協では、同様のサービスを(株)アイエスを通じて提供していたが、これによって修理工場のネットワークを一挙に日本全国に広げることができた。

2. 広報活動

(1) 福岡県代協ニュースの発行

- ・平成23年4月28日号（第3回（62）通常総会開催案内 ほか）
- ・平成24年 新年号（会長の年頭挨拶、全国一斉入会キャンペーン ほか）

(2) 代協だよりの発行

- ・福岡東支部 平成23年5月（第4号）、6月（第5号）、8月（第6号）、10月（第7号）、12月（第8号）、平成24年3月（第9号）
- ・福岡南支部 平成23年12月（第1号）、平成24年3月（第2号）

(3) 新聞広告

- ・福岡県代協 西日本新聞 全九州版 平成24年3月11日 (防災特集面)
- ・久留米支部 西日本新聞 筑後版 平成23年4月23日, 8月21日, 12月4日
平成24年3月3日 (以上4回)
- ・北九州東支部 } 合同 読賣新聞 北九州版 平成23年11月12日
- ・北九州西支部 }

CSR委員会 地球環境問題と社会貢献活動

1. 社会貢献活動等

(1) 東日本大震災・被災代協会員向けの義援金募集活動

- ・日本代協からの呼びかけに応じて、各支部から寄せられた義援金の合計818,266円、および23年5月20日開催の第3回通常総会後の懇親会の席上で募集した56,889円を日本代協に送金した。
日本代協では、全国から送金された義援金(総額22,876千円)を一定の配分基準に基づいて被災代協会員に配分した。
- ・平成23年11月12日開催の、福岡3支部合同セミナー後の懇親会の席で募集した3万円強を、谷地講師の所属する岩手県代協沿岸支部に対する義援金として、講師に手渡した。

(2) グリーン基金 (日本代協主催)

- ・日本代協は、地球環境保護、自然保護活動あるいは社会貢献活動の取組実績のある団体に対し「グリーン基金」の寄付を実施している。
福岡からは「NPO法人 筑後川流域連携倶楽部」が応募して10万円の寄付を受けることが決定、平成23年5月28日(土)同法人の総会に坪口CSR委員長が出席し贈呈式を行った。

(3) ラブアース・クリーンアップ2011 (NPOクリーンふくおかの会主催)

- ・平成23年6月12日(日)、古賀海岸(古賀市)の清掃作業を実施予定であったが雨天の為中止となった。

(4) ハザードマップ説明会 (損保協会主催)

- ・平成23年7月15日(金)、損保ジャパン博多支社 会議室
- ・福岡県代協役員、支部長、CSR委員の25名が参加。

(5) 第7回福岡県防災講演会 (福岡県主催)

- ・平成23年9月2日(金) 福岡県庁 3階講堂
- ・CSR委員を中心に6名が参加。

(6) 救急救命講習会（損保協会主催）

- ・平成23年10月28日（金）福岡市消防局本部庁舎 3階講堂
- ・7名が参加（当講習会には平成16年度以降毎年参加しており、延受講者数は47名）

(7) 映画「ゼロからの風」DVDの高校向け無償配布活動（日本代協主催）

- ・会員および福岡県教育委員会に配布先高校の推薦、申込みを働きかけたが、結果的には1校のみに留まった。

(8) 使用済み切手収集（損保協会主催）

- ・損保協会九州支部が収集してジョイセフ等に寄付し、発展途上国の難民救済活動等に役立てる活動を行っており、福岡県代協事務局および各支部で収集した使用済み切手を定期的に損保協会へ持ち込んでいる。

2. 各種キャンペーン

(1) 無保険車追放キャンペーン（日本代協と国土交通省との共催）

- ・平成23年9月27日（火）早朝、福岡3支部から16名、福岡運輸支局4名の合計20名が参加し、JR博多駅・博多口（博多駅前広場）にて通勤途上者にビラを配布した。

(2) 「盗難防止の日」キャンペーン（損保協会主催）

- ・平成23年10月7日（金）早朝、福岡3支部から10名が参加して、福岡市中央区の西鉄・福岡（天神）駅周辺にて盗難防止を呼びかけるチラシを配布した。

(3) 地震保険普及キャンペーン（日本代協主催）

- ・平成23年10月28日（金）夕刻、北九州東支部、北九州西支部から30名が参加して、北九州市八幡西区のJR黒崎駅前にて、地震保険普及のチラシとポケットティッシュを通行人に配布した。



(4) 「防災・地震保険 啓発」街頭活動（損保協会主催）

- ・東日本大震災から1年後の平成24年3月11日（日）14時過ぎから、福岡市中央区の西鉄福岡（天神）駅周辺にて、防災と地震保険に関する小冊子と防災グッズ（軍手）を通行人に配布した。

損保協会の支部が所在する11都市で実施され、福岡市の会場には損保各社の役職員を中心に約50名が集合、福岡県代協からは福岡3支部の7名が参加した。

また、大地震の発生時：14時46分に、参加者が一斉に黙祷をささげた。

全国損害保険代理業政治連盟（政連）

・政連会員の加入促進策として、福岡県代協の一般社団法人化を契機に、平成21年度会費から、いわゆる京都方式（原則として正会員の代表者が政連会員となるが、入会しないという意思表示があれば加入を辞退できるという加入方式であり、意思確認は毎年実施。）を採用している。

京都方式を採用しているのは、全国47代協中33代協であり、安定的な政連会員加入に寄与している。平成23年度の会員数は378名である。

会議の開催状況

1. 第3回（62）通常総会 平成23年5月20日
2. 理事会・支部長会議 平成23年4月15日 7月15日 10月21日 12月15日
平成24年2月17日
3. 組織財務委員会 平成23年6月21日 平成24年1月30日
4. 教育委員会 平成23年7月8日
5. 企画環境委員会 平成23年8月5日
6. 事業広報委員会 平成23年6月10日
7. CSR委員会 平成23年8月5日
8. 九州北ブロック協議会 平成23年8月19日（佐賀）
10月8日（熊本：九州南ブロックとの合同会議）
平成24年1月10日（福岡）
2月3日（長崎）

■ 第1回日本代協コンベンション ～ テーマ：代理店の価値を考える ～

平成23年11月18日 第1部（新橋：ヤクルトホール）記念式典、代協会員懇談会、
パネルディスカッション

第2部（新橋：第一ホテル東京）懇親会
11月19日 （御茶ノ水：損保会館） 基調講演、4分科会

・福岡県代協からは、橋本会長以下11名が参加した。